

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和6年度病害虫発生予察注意報第1号について

令和6年度病害虫発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

令和6年度病害虫発生予察注意報第1号

チャノミドリヒメヨコバイの発生が多くなっています。防除対策の徹底を図りましょう。

- 1 病害虫名 : チャノミドリヒメヨコバイ
- 2 作物名 : 茶
- 3 発生地域 : 県下全域
- 4 発生量 : 多

5 注意報の根拠

- 1) 6月中旬の巡回調査の結果、チャノミドリヒメヨコバイの発生面積率は71.4%で(平年38.6%)、発生程度(寄生葉率)は4.6%(平年1.8%)でいずれも平年比多であった(図1、2)。5月以降、発生が増加傾向にあり注意が必要である。
- 2) 向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年並と予想されており(鹿児島地方气象台1か月予報 6月20日発表)、本虫の活動に好適な条件が続くことが予想され、注意が必要である。

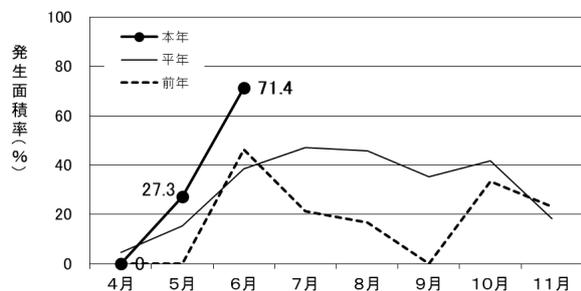


図1 発生面積率の推移

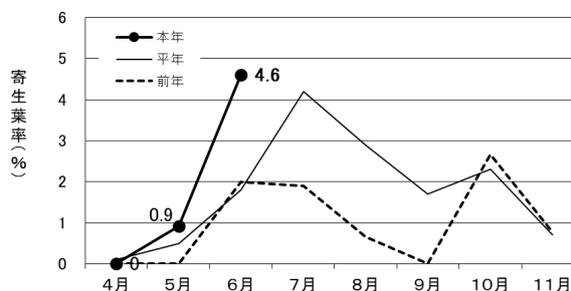


図2 発生程度(寄生葉率)の推移

6 防除上の注意

- 1) 本虫は新芽や新梢を吸汁加害するため、萌芽から開葉初期に薬剤散布による防除を行う。
- 2) 特に翌年の母枝となる秋芽への被害は一番茶への影響が大きくなるため防除を徹底する。また、幼木園や更新園などの新梢の生育期間が長い園では被害が拡大しやすいため注意する。
- 3) 薬剤防除はチャノキイロアザミウマとの同時防除が行えるよう、どちらの害虫にも効果がある薬剤を選定するのが望ましい。
- 4) 農薬を使用する際は、必ず容器のラベルの登録内容を確認し、使用基準を遵守する。

7 その他

6月1日から8月31日の3か月間は、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベルの登録内容の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課
(病虫害防除・肥料検査センター) 阿萬、久野

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127

E-mail : byogaichu-hiryu@pref.miyazaki.lg.jp

HP : https://hinatamafin.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/noshi_byogai/index.html

